

日本版DMO形成・確立計画

1. 日本版DMOの組織

申請区分	広域連携DMO・地域連携DMO・ 地域DMO	
日本版DMO候補法人の名称	一般社団法人みよし観光まちづくり機構	
マーケティング・マネジメント対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 広島県三次市	
所在地	広島県三次市	
設立時期	平成 29 年 12 月 15 日	
職員数	3 人（専従役員、専従職員）	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者） ※必ず記入すること	代表理事 （氏名） 高岡 雅樹 （出身組織名） 三次市	昭和 57 年から三次市職員としてまちづくりをはじめとする幅広い分野で市民との協働を実践してきた。 平成 23 年 5 月三次市副市長に就任。 観光分野では一般社団法人三次市観光協会の副会長も務めている。
マネジメント及び各部門（まちづくり）の責任者（専門人材）	専務理事 （氏名） 永江 博之 （出身組織名） 株式会社アサツデー・ケイ（ADK）	東急観光株式会社（現東武トップツアーズ株式会社）インバウンド事業部門にて、訪日観光パッケージツアーの企画・オペレーション、及び大手製造メーカー海外販社の大型訪日インセンティブツアー（インバウンド）の企画提案、オペレーションを 16 年間実施、その後米国マーケティング会社カールソンマーケティングを経て、株式会社アサツデー・ケイ入社後、リレーションシップマーケティング、CRM 専門子会社を設立運営、国内外クライアントに対して各種マーケティングサポートを通算 15 年間実施。
各種データの分析・収集等（マーケティング）の責任者（専門人材）	事務局長 （氏名） 藤井 啓介 （出身組織名） 三次市	三次市において総合計画等各種の計画策定に従事する中で、各種統計データの収集、分析、KPI 設定を行っている。
プロモーションの責任者（専門人材）	専務理事 （氏名） 永江 博之 （出身組織名） 株式会社アサツデー・ケイ（ADK）	欧州東急観光にて製造業を中心にグローバルなセールスコンテストを実施、ワールドカップ等のホスピタリティーイベントを企画運営、またカールソンマーケティングでは、オリンピックマーケティングとしてトップスポンサーのプロモーション、セールスコンテスト、ホスピタリティーマネジメントを企画運営、その後 ADK にて、国内、外資系企業に対して、B2C 及び B2B 向けの各種キャンペーン、Lead Management、CRM、SFA を企画運営。
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	三次市観光スポーツ交流課（マーケティング）、農政課（農業体験）、商工労働課（ブランド開発・商店街活性化）、定住対策暮らし支援課（空き家対策）、地域振興課（まちづくり）、文化と学びの課（文化財保護）	

(別添) 様式 1

<p>連携する事業者名及び役割</p>	<p>一般社団法人三次市観光協会（観光案内及び地域イベントの運営） 君田町観光協会（観光案内及び地域イベントの運営） 作木町観光協会（観光案内及び地域イベントの運営） 三良坂町観光協会（観光案内及び地域イベントの運営） 甲奴町観光協会（観光案内及び地域イベントの運営） みよし田舎ツーリズム協議会（着地型旅行商品） 三次商工会議所（創業支援、商品開発支援） 三次広域商工会（創業支援、商品開発支援） 三次市住民自治組織連合会（まちづくり） 広島みどり信用金庫（人的支援、資金相談） 株式会社広島銀行（事業支援、資金相談）</p>
<p>官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</p>	<p>（該当する要件） ①から④ （概要） ・地方自治体及び域内の観光協会が、本法人の社員総会に社員として参画し、理事会においても理事として参画し、法人の活動方針等の意思決定に関与している。また、民間事業者が本法人に出向者を派遣し事業に参画している。 ・多様な観光関係者が参加する既存組織「三次市観光キャンペーン実行委員会」を合意形成の場として活用している。</p>
<p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>	<p>・「三次地区の文化・観光まちづくりを進める会」の事務局として5つのプロジェクトを定期的で開催し、比熊山の登山道整備やまちを回遊してもらうための仕掛けづくりの協議などを進めている。 ・また、日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）の建設を契機とした新たな商品開発の相談会を開催している。</p>
<p>法人のこれまでの活動実績</p>	<p>（活動の概要） 2016年8月 三次市政策部主催、全国広域観光振興事業「オール三次観光地域づくり講演会」開催 2017年12月 一般社団法人みよし観光まちづくり機構設立 2017年12月 「三次地区の文化・観光まちづくりを進める会」の事務局としての活動 2018年1月～3月 日本妖怪博物館 PR パンフレット「みよしもののけミュージアム」の作成 2018年4月～ 日本妖怪博物館のPRのために広島市等でPRパンフレット等の配布活動 2018年8月 「三次地区の文化・観光まちづくりを進める会」情報発信プロジェクトと共催し「朝霧の巫女を巡るモバイル・スタンプラリー」を開催 2018年8月 「朝霧の巫女を巡って-宇河弘樹さんとともに-」を開催</p> <p>（定量的な評価） なし</p>

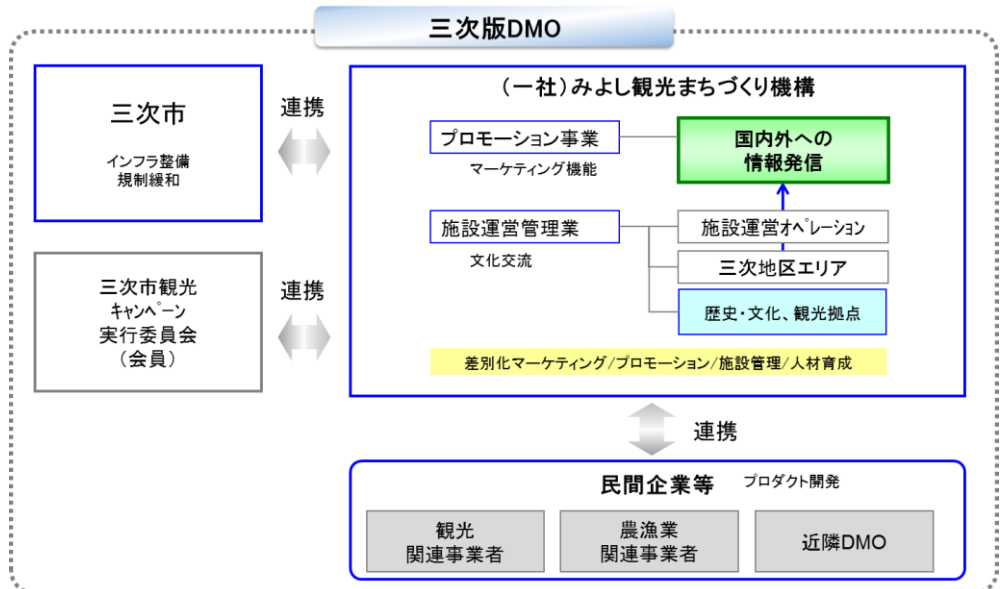
(別添) 様式 1

実施体制

(実施体制の概要)

- ・ 本法人設立当初の職員（専従）は3名体制。交流拠点である日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）の開館に合わせて増員していく方針。
- ・ 三次市観光キャンペーン実行委員会が合意形成組織となり、メンバーには、行政、宿泊業者、飲食業者のみならず、交通事業者、農業者など多様な関係者が参画するなど官民が密接に連携した運営を実施。

(実施体制図)



- ・ みよし観光まちづくり機構は、三次市への新たな人の流れを生み出し、「稼ぐ力」「新たな仕事」を創出し、三次市を訪れる人たちと住民との「交流」による新たな人間関係・文化の創造をめざしている。
- ・ 本法人をマネジメントする人材を外部から登用し、従業員に広島みどり信用金庫からの派遣1名を受け入れ、地域おこし協力隊1名とも連携し、業務を執行している。
- ・ 近隣DMOとしては、一般社団法人せとうち観光推進機構、株式会社 瀬戸内ブランドコーポレーション等と連携関係を模索していく。
- ・ 今後、日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）交流棟の施設運営管理業の開始に向けて、人員を増加する予定。

(別添) 様式 1

(三次市観光キャンペーン実行委員会 (平成 30 年))

No.	会員	No.	会員
1	三次市	19	(株)布野特産センター
2	三次商工会議所	20	とみしの里振興協議会
3	(一社) 三次市観光協会	21	(有)ハイヅカ湖畔の森
4	三次市ホテル旅館組合	22	(有)みわ375
5	広島県喫茶飲食生活衛生同業組合 三次支部	23	三次市観光ボランティアガイドグループ
6	広島県飲食業生活衛生同業組合 三次飲食支部	24	奥田元宋・小由女美術館ボランティアスタッフ
7	広島県すし商生活衛生同業組合 三次支部	25	三次シニアライオンズクラブ
8	三次農業協同組合	26	三次市女性会連合会
9	三次地方森林組合	27	物怪プロジェクト三次
10	三次広域商工会	28	備北地域農業青年クラブ連絡協議会
11	君田町観光協会	29	三次市住民自治組織連合会
12	作木町観光協会	30	三次町歴史まち協議会
13	三良坂町観光協会	31	辻村寿三郎人形館
14	甲奴町観光協会	32	平田観光農園
15	(株)広島三次ワイナリー	33	西日本旅客鉄道(株)広島支社 三次鉄道部
16	広島県立歴史民俗資料館	34	西日本高速道路(株)中国支社 三次高速道路事務所
17	(公財) 奥田元宋・小由女美術館	35	(一社)みよし観光まちづくり機構
18	(株)君田トエンティワン		

2. 日本版DMO候補法人がマーケティング・マネジメントする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】

(区域：広島県三次市)



【区域設定の考え方】

三次市の中心市街地、三次町、酒屋地区の3つのエリアにおける「交流拠点」を活かし、市内の観光資源を組み合わせ、ネットワーク化を図りながら、三次全体としての魅力向上に努め、目的地となり得る「観光地域づくり」を推進していく。

【観光客の実態等】

平成26年入込観光客数	1,561千人	宿泊者数	103千人	観光消費額	4,475百万円
平成27年入込観光客数	2,060千人	宿泊者数	135千人	観光消費額	5,389百万円
平成28年入込観光客数	2,078千人	宿泊者数	137千人	観光消費額	5,443百万円
平成29年入込観光客数	2,089千人	宿泊者数	137千人	観光消費額	5,483百万円

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

主要な観光施設：広島三次ワイナリー、君田温泉森の泉、平田観光農園、トレッタみよし等

自然：尾関山公園、常清滝、神之瀬峡県立自然公園、江の川、霧の海等

文化：奥田元宋・小由女美術館、三次人形、県立みよし風土記の丘、三次市民ホールきりり等

スポーツ：みよし運動公園、広島県立みよし公園、江の川カヌー公園さくぎ、灰塚ダムトライアルパーク等

イベント：鵜飼、花火大会、きんさい祭り等

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力】

(別添) 様式 1

「三次宿泊施設一覧（平成 29 年）」				
区 分	施設名称	所在区域	部屋数	収容数 (人)
旅館	鶴鳴館	三次地区	8	21
	中瀬旅館	十日市地区	7	15
	松見楼	十日市地区	5	18
	旅館更科	十日市地区	10	20
	長岡旅館	十日市地区	14	36
	大和旅館	十日市地区	6	12
	ふだば旅館	神杉地区	25	50
	君田温泉森の泉	君田地区	12	48
	滝見家旅館	作木地区	11	20
	あきやま旅館	甲奴地区	5	12
	卑弥呼蔵寝床と学び舎青猫	三次地区	4	12
ホテル (ビジネスホテル含む)	三次グランドホテル	十日市地区	88	108
	三次ロイヤルホテル	十日市地区	131	238
	ビジネスホテルニューたか	栗屋地区	15	25
	ホテル α・1 三次	十日市地区	216	252
	ビジネスホテル白鳥荘	八次地区	15	40
	三原ビジネスホテル	三次地区	4	4
	ビジネスホテル&ゲストライカ	酒屋地区	39	39
その他	とみしの里小富士荘	吉舎地区	10	30
	体験交流センターやすらぎ荘	甲奴地区	3	45
	ペンションカーターヒルズ	甲奴地区	2	4
	広島ふるさと村	三和地区	6	84
農家民宿	ほしはら山のがっこう	川西地区	-	38
	農家民宿菜の花ばたけ	作木地区	1	6
	きこりの家	布野地区	-	5
	民宿ポンママの宿かくれんぼ	川西地区	-	10
	農家民宿竹丸屋	川西地区	-	6
	農家民宿かみいと	川西地区	-	5
	田舎宿風の道	和田地区	6	16
	元笑訪	吉舎地区	-	10
	農家民宿こがねや	君田地区	-	8
	山仕事体験民宿気楽坊	甲奴地区	2	10
			645	1,247

(別添) 様式 1

<p>【利便性：区域までの交通、域内交通】</p> <p>広島から JR 芸備線快速（三次駅） 1 時間 20 分 広島から高速バス（広島 BC～三次駅） 1 時間 20 分 福山から JR 福塩線（三次駅） 2 時間 30 分 福山からバス 1 時間 50 分 広島空港からバス 1 時間 30 分 松江から高速バス（三次 IC） 1 時間 36 分 新大阪から高速バス 4 時間 30 分 みよし市街地循環バス「くるるん」他</p> <p>【外国人観光客への対応】</p> <p>英語・韓国語・中国語の観光パンフレットを作成 今後、順次 Free Wi-Fi の設置や案内看板の外国語表記を実施する予定</p>

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
① 旅行消費額	来訪者の発着地・目的・消費額を調査することで経済効果を把握し、分析するため	「広島県観光客数の動向」をもとに集計
② 延べ宿泊者数	宿泊施設の利用客数を把握することで経済効果を把握し、分析するため	「広島県観光客数の動向」をもとに集計
③ 来訪者満足度	来訪者の満足度を把握することでサービス・商品の改善に繋げるため	アンケート調査により実施（対面調査やウェブ調査）
④ リピーター率	再来訪者数の把握・整理	アンケート調査により実施（対面調査やウェブ調査）
⑤ 入込観光客数	市外からの観光客数の実態を把握するため	「広島県観光客数の動向」をもとに集計
⑥ 外国人観光客数	市内への外国人観光客数	「広島県観光客数の動向」をもとに集計

4. 戦略

(1) 地域の強みと弱み (cross swot)

	好影響	悪影響
内部環境	<p>強み (Strength)</p> <p>① 伝統・史跡や文化（卯建のあるまちなみ、鶺鴒、三次人形、辻村寿三郎人形館、浅野内匠頭正室・阿久利姫（瑤泉院）遺髪堂や義士堂など忠臣蔵ゆかりの鳳源寺）</p> <p>② 美しい景観（県内有数の桜・紅葉の名所「尾関山公園」、霧の海、常清滝、神之瀬峡自然公園）</p> <p>③ ファミリーで楽しめる酒屋地区（広島三次ワイナリー、みよし運動公園、みよしあそびの王国、トレッタみよし、みよし森のポッケ、奥田元宋・小由女美術館）</p> <p>④ 温泉資源（君田温泉森の泉）</p> <p>⑤ フルーツの恵み（三次ピオーネ、平田観光農園、フルーツランドふの等）</p> <p>⑥ 充実したスポーツ施設（みよし運動公園、広島県立三次公園、江の川カヌー公園さくぎ等）</p> <p>強みを活かす戦略</p> <p>① 県内外、近隣都市、全国への PR、プロモーションの強化（ネット、紙媒体）</p>	<p>弱み (Weaknesses)</p> <p>① 観光資源の不足や観光インフラ、既存観光地の整備不足</p> <p>② 不便な公共交通機関（沿岸部、都市部からのアクセスの悪さ、西日本豪雨災害による JR の運行停止）</p> <p>③ 宿泊施設の不足（市内全域で約 650 部屋程度）</p> <p>④ ご当地グルメの不足</p> <p>弱みを克服する戦略</p> <p>① 観光資源の開発 (Dream Making)</p> <p>平成 31 年春、日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）の開業を機に、ミュージアム周辺の三次町（旧市街地全域）の活性化（三次まるごと博物館構想の展開）、高谷山（霧の海）山頂の観光資源の整備（レストラン、グランピング、宿泊施設等運営の観光事業者の誘致）やピオーネ団地を拡大したアグリパーク構想の展開</p> <p>② 広島駅、広島空港からのお客様向けに、レンタカー会社と組んだ格安フリードライブ宿泊プランの開発</p> <p>③ 日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）来訪者をターゲットにした周辺の三次町（旧市街地）の空き家を有効活用した民泊事業計画の推進</p> <p>④ 霧里パークを活用した食材開発（みよしホルモン等）</p>
外部環境	<p>機会 (Opportunity)</p> <p>① 「中国縦貫自動車道」（東西交流）に加え、平成 27 年度「中国やまなみ街道」（南北交流/尾道～三次～松江間/大半が無料区間）の全線開通による交通量、来訪者の増大（中国やまなみ街道開通前、平日 10,000 台→開通後、12,600 台/日、同 休日 8,400 台→14,000 台/日）</p> <p>② 平成 31 年春、日本初「日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）」の開業</p> <p>機会を活かす戦略、機会を増やす戦略</p> <p>① 日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）開業を機に、三次町（旧市街地）の活性化構想（三次まるごと博物館）の展開により、三次町全体の観光資源開発を推進</p> <p>② 広島県内のみならず日本全国の妖怪ファンをターゲットにした新たな観光客層の取り込み（県内集中 PR から全国 PR へのシフト）</p> <p>③ 日本妖怪会議、怪フォーラム等の妖怪イベント、コンベンションの誘致</p> <p>④ 三次市以外の妖怪観光推進をする全国の市町村と組んだ妖怪市町村連携型周遊旅行ルートの開発による妖怪ファンの入込数の拡大</p> <p>⑤ ファミリー層を中心に集客力のある酒屋地区から三次町（旧市街地）への誘導プロモーション</p> <p>⑥ アグリパーク構想展開によるフルーツ需要旅行客市場の拡大や農泊来訪者の拡大</p>	<p>脅威 (Threat)</p> <p>① 天災（地震、台風、洪水、豪雨、その他甚大な自然災害）による三次市への観光客の減少</p> <p>② 東西南北交通量の拡大により、三次市を素通りする観光客の増大</p> <p>③ （特に大型イベント開催時等）大型宿泊施設等への一極集中による宿泊者数の制限</p> <p>脅威を緩和、回避する戦略、又は撤退する戦略</p> <p>① 三次市をあげた防災体制、防災補強工事の強化の検討要請</p> <p>② 新たな宿泊事業者の誘致</p> <p>③ 民泊事業の推進や民泊助成金の検討</p>

(2) ターゲット

(別添) 様式 1

<p>○第1ターゲット層 (広島県内ファミリー層)</p> <p>広島県内の20~40代のファミリー層を対象に、ファミリーで楽しめる酒屋地区 (広島三次ワイナリー、みよし運動公園、みよしあそびの王国、トレッタみよし、森のポッケ、奥田元宋・小由女美術館) への誘導</p>
<p>○選定の理由、○取組方針</p> <p>(選定理由) 酒屋地区は、既に年間40万以上の観光客数を有し、その主な観光客層は、ファミリー層であるため、このセグメントの旅行客総数を伸ばしたいため</p> <p>(取組方針) 主に広島県内、近隣県へのPR、プロモーションの実施、旅行代理店への団体旅行企画の提案</p>
<p>○第2ターゲット層 (従来存在しなかった新たな Special Interest 観光客層)</p> <p>日本妖怪博物館 (三次もののけミュージアム) と三次町旧市街地への日本全国からの妖怪ファンの来訪促進</p>
<p>○選定の理由、○取組方針</p> <p>(選定理由) 平成31年春、日本初「日本妖怪博物館 (三次もののけミュージアム)」の開業と周辺の旧市街地を含めた「三次まるごと博物館」構想の推進</p> <p>(取組方針) 日本全国の妖怪ファンへのPR、プロモーションの推進</p>
<p>○第3ターゲット層 (インバウンド/訪日外国人旅行者)</p> <p>○選定の理由、○取組方針</p> <p>妖怪は海外でもYOKAIとして人気があり、平成30年度はスペインの王立サン・フェルナンド美術アカデミーでも三次市所蔵の妖怪展覧会が開催され、今後米国でも三次市所蔵の海外展示会も予定されている。アジアでも韓国、台湾など妖怪ファンも多く、海外の妖怪ファン層を取り込んでいきたい。また、平成30年及び平成31年も三次での東京オリンピック・パラリンピック事前合宿が予定されており、海外からのオリンピック関連誘致客層の取り込みも狙っていきたい。</p>
<p>○クロスマーケティング</p> <p>第1ターゲット層の第2ターゲット層エリアへの誘導 第2ターゲット層の第1ターゲット層エリアへの誘導</p>

(3) コンセプト

① コンセプト	東西南北、時代と世代を超えて、旅人を温かく迎えてくれるまち、それが三次。
② コンセプトの考え方	中国縦貫道 (東西) とやまなみ街道 (南北) のクロスポイントである景観豊かな三次市には、備後三次初代藩主浅野長治が築いた 400 年の伝統文化のある三次町 (旧市街地) と子どもの健やかな成長を見守るファミリー層が楽しめるみよし遊びの王国やみよし森のポッケ (子どもの室内遊技場)、みよし運動公園と広島三次ワイナリーやトレッタみよし、ピオーネ団地などの三次の特産品をお届けするグルメスポットが共存する酒屋という対照的な新旧の拠点が融和するまちである。 また、市内には温泉や観光農園、江の川を活用したカヌー体験ができる公園などアクティビティも点在している。 四季折々に、美しい景観と食材がどんな旅人も温かく迎えてくれるまち、「見てよし、遊んでよし、食べてよし、泊まってよし、それが三次」そんな三次市のまちづくりをめざす。

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有	<ul style="list-style-type: none">・本法人は、観光関連事業者である三次市、三次市観光課、三次市観光協会、三次市内各町内観光協会、商工会議所等で構成する一般社団法人であり、その社員総会、及び理事会により観光関連の情報、事業戦略を共有している。・また、三次市民を対象にして、平成 30 年度「三次地区の文化・観光まちづくりを進める会」会員を市民より一般募集し、下記の 5 つのプロジェクトの推進事務局を運営している。<ol style="list-style-type: none">1. 「景観・美観」プロジェクト（会員 10 名）<ul style="list-style-type: none">・比熊山登山遊歩道の整備・比熊山の整備（景観の確保、案内板の整備など）2. 「回遊性の向上」プロジェクト（会員 10 名）<ul style="list-style-type: none">・回遊性スポットの抽出・マップ・デジタルマップ・説明版などの制作、配布3. 「歴史・文化・芸術の保全・伝承」プロジェクト（会員 6 名）<ul style="list-style-type: none">・三次人形・古絵図・古写真などの展示・展示施設としての「まちなかギャラリー」の確保・既存施設の活用4. 「きんさい（おもてなし）」プロジェクト（会員 6 名）<ul style="list-style-type: none">・「まちユニフォーム」制作プロジェクト5. 「情報収集・発信」プロジェクト（会員 6 名）<ul style="list-style-type: none">・会員相互間の情報交換の仕組み構築・情報発信の仕組み構築（他地域の PR も含む）・その他、三次市内事業者を対象に、日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）内ミュージアムショップ、交流棟売店にて販売するお土産商品の企画開発の相談事務局も運営している。（15 事業者程度）
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	<ul style="list-style-type: none">・本法人の活動計画と活動内容は、三次市観光キャンペーン実行委員会に報告して、その活動について評価を頂く仕組みがある。
一元的な情報発信・プロモーション	<ul style="list-style-type: none">・三次市地域振興部観光スポーツ交流課と定例ミーティングを行い、連携した調査、PR 活動の実施する仕組みがある。・また、三次市政策部（三次地区拠点施設開設準備室担当）と連携した日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）交流棟の指定管理、ウェブサイト構築、PR、プロモーションの共同実施、及び妖怪関連イベント、コンベンション等の誘致の促進する体制もある。

6. KPI (実績・目標)**(1) 必須KPI**

指標項目	単位	27年 (暦年)	28年 (暦年)	29年 (暦年)	30年 (暦年)	31年 (暦年)	32年 (暦年)
①旅行消費額	百万円	5,389	5,443	5,483	5,532	5,585	5,635
②延べ宿泊者数	千人	135	137	137	138	139	140
③来訪者満足度	%	—	52	54	56	58	60
④リピーター率	%	—	77	77	79	77	80
⑤ウェブサイトアクセスユーザー数	回	—	—	510,579	759,106	DMO ホームページは別途構築中	

備考：①～④：平成29年度までは実績値、⑤：DMO独自のホームページは構築中（上記⑤は、三次観光光子公式ホームページの訪問者数）

※年次及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方**【検討の経緯】**

- ・広島県観光入込客統計のデータを参考に、来訪者満足度、リピーター率に関するデータを調査し、持続性のある観光地経営のための定性的な効果も含めて把握するため「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の考え方を踏まえ、本法人の事業戦略に基づく目標値を検討。
- ・三次市観光キャンペーン実行委員会などを通して、地域関係者と連携を図りながら、各種調査の分析結果を共有し、三次市での検証も参考に、理事会意見を通して、事業計画の見直しを図っていく。

【設定にあたっての考え方】

平成31年の日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）の開館をフックに各指標の目標を設定する。

① 旅行消費額

平成27年から29年の旅行消費額伸び率1.7%を基本としつつも、日本妖怪博物館の開館という新たな要素を加味して、平成32年の旅行消費額を平成29年比2.8%の増加をめざす。

② 延べ宿泊者数

三次市内の主要な宿泊施設の稼働率は比較的高く施設が不足気味であるので、民泊などの開設の促進を並行しながら、年間1,000人（3年間で3,000人）の増加をめざす。

③ 来訪者満足度

各年2%向上し、平成32年は60%をめざす。

④ リピーター率

日本妖怪博物館が開館する平成31年は新規来訪者を獲得することを想定するとともに、平成32年には再訪したい地域として定着することを目標として80%をめざす。

⑤ ウェブサイトアクセスユーザー数

平成30年にウェブサイト構築する予定。

(別添) 様式 1

(2) その他の目標

指標項目	単位	27年 (暦年)	28年 (暦年)	29年 (暦年)	30年 (暦年)	31年 (暦年)	32年 (暦年)
⑥入込観光客数	千人	2,060	2,078	2,089	2,101	2,122	2,130
⑦外国人観光客数	人	3,737	4,005	6,619	10,000	11,000	12,700
⑧日本妖怪博物館来館客数	千人	—	—	—	—	60	60

※項目及び年次・目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

「みよしブランド」の情報発信と来訪者の受入体制を強化することが重要課題であると考えており、平成31年春に開館する日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）を契機に、来訪者の増加を狙うべく計測指標とした。

【設定にあたっての考え方】

⑥ 入込客数

平成31年の日本妖怪博物館の開館という新たな要素を加味して、平成32年の入込客数を平成29年比2%の増加をめざす。

⑦ 外国人観光客

平成29年の入込観光客数に占める外国人観光客数の割合（0.3%）を、平成32年には倍増（0.6%）させることをめざす。平成30年及び31年は東京オリンピック・パラリンピック事前合宿の受入れがあり、29年比で大幅に増加するが、平成32年も引き続きこの水準をめざす。

⑧ 日本妖怪博物館の来館客数

三次市の目標数値に準じる。

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し**(1) 収入**

年度	総収入 (円)	内訳 (円)
H 28 年度	0	(内訳の区分例)
H 29 年度	13,744,000	【市からの補助金】 7,750,000 【市からの受託事業】 5,994,000
H 30 年度	50,000,000	【市からの補助金】 28,000,000 【市からの受託事業】 22,000,000
H 31 年度	63,000,000	【市からの補助金】 28,000,000 【地方公共団体からの指定管理収入】 2,758,000 【収益事業収入 (受託+物販等)】 32,242,000
H 32 年度	63,000,000	【市からの補助金】 28,000,000 【地方公共団体からの指定管理収入】 2,758,000 【収益事業収入 (受託+物販等)】 32,242,000

(2) 支出

年度	総支出 (円)	内訳 (円)
H 28 年度	0	(内訳の区分例)
H 29 年度	13,744,000	【一般管理費】 7,750,000 【国内プロモーション】 5,994,000
H 30 年度	50,000,000	【一般管理費】 18,000,000 【マーケティング (市場調査、ブランド戦略等)】 10,000,000 【プロモーション】 22,000,000
H 31 年度	63,000,000	【一般管理費】 18,000,000 【マーケティング (市場調査、ブランド戦略等)】 10,000,000 【プロモーション】 22,000,000 【施設管理経費】 13,000,000
H 32 年度	63,000,000	【一般管理費】 18,000,000 【マーケティング (市場調査、ブランド戦略等)】 10,000,000 【プロモーション】 22,000,000 【施設管理経費】 13,000,000

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

・指定管理業 (物販含む)、民泊事業および旅行業などを積極的に推進し、自律的な組織を目指す。

8. 日本版DMO形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意

・広島県三次市は、一般社団法人みよし観光まちづくり機構と当該都道府県及び市町村における地域 DMO として登録したいので申請します。

9. 記入担当者連絡先

担当者氏名	藤井 啓介
担当部署名 (役職)	事務局長
所在地	三次市十日市中二丁目 8 番 1 号 (三次市役所内)
電話番号 (直通)	0824-62-6150
FAX 番号	0824-62-6137
E-mail	info@miyoshi-dmo.jp

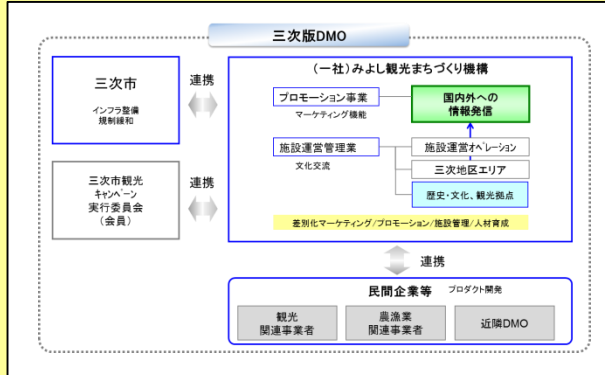
10. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	広島県三次市
担当者氏名	菅原 啓子
担当部署名 (役職)	三次市地域振興部観光スポーツ交流課
所在地	三次市十日市中二丁目 8 番 1 号
電話番号 (直通)	0824-62-6172
FAX 番号	0824-62-6235
E-mail	kankou@city.miyoshi.hiroshima.jp

都道府県・市町村名	広島県三次市
担当者氏名	中田 秋子
担当部署名 (役職)	三次市地域振興部観光スポーツ交流課観光交流係
所在地	三次市十日市中二丁目 8 番 1 号
電話番号 (直通)	0824-64-0066
FAX 番号	0824-62-6235
E-mail	kankou@city.miyoshi.hiroshima.jp

【区域】広島県三次市
 【設立時期】平成29年12月15日
 【代表者】高岡雅樹
 【マーケティング責任者】藤井啓介
 【職員数】3人(専従役員、専従職員)

(表：実施体制)



(表：KPI(実績・目標))

	27年 (暦年)	28年 (暦年)	29年 (暦年)	30年 (暦年)	31年 (暦年)	32年 (暦年)
旅行消費額	5,389 百万円	5,443 百万円	5,483 百万円	5,532 百万円	5,585 百万円	5,635 百万円
延べ宿泊者数	135 千人	137 千人	137 千人	138 千人	139 千人	140 千人
来訪者満足度	-	52%	54%	56%	58%	60%
リピーター率	-	77%	77%	79%	77%	80%

【連携する主な事業者】
 三次市観光キャンペーン実行委員会、
 みよし田舎ツーリズム協議会、
 三次商工会議所、三次広域商工会、
 三次市内の5つの観光協会 ほか

プロモーション事業に関する取組

- 「三次ブランド」の情報発信
- 広島県内及び近隣県に向けたプロモーション実施
- 日本全国の妖怪ファンへのプロモーション
- 海外からの東京オリンピック合宿関連客や海外の妖怪ファン層をターゲットにしたインバウンド観光客の取り込み

施設運営事業に関する取組

- 平成31年春、日本妖怪博物館(三次もののけミュージアム)開館予定
- 交流館にて物販事業も展開する予定

マーケティングの取組

- 市場調査
- 戦略策定



(三次市HPより引用)

主な観光資源

- 【施設】
 広島三次ワイナリー、君田温泉森の泉平田観光農園、トレッタみよし 等
- 【自然】
 尾関山公園、常清滝、神之瀬峡県立自然公園、江の川、霧の海 等
- 【文化】
 奥田元宋・小由女美術館、三次人形広島県立みよし風土記の丘三次市民ホールきりり 等
- 【スポーツ】
 みよし運動公園、県立みよし公園江の川カヌー公園さくぎ 等
- 【イベント】
 鵜飼、花火大会、きんさい祭り 等